学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏　名	職　名　等	授　賞　理　由
平成29年　3月24日	遠藤哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年　3月26日	山本雅之	医学系研究科教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年　3月27日	佐藤英明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年　3月27日	中沢正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年　9月25日	中沢正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器（EDFA）の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年　3月25日	川人貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年　3月27日	加藤康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年　9月25日	井上明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料『金属ガラス』を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年　7月31日	小柳光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年　3月24日	鈴木厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年　6月29日	大野英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者　2024（令和6）年度

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

氏名・団体名	職　名　等	授　賞　理　由
学務審議会 初修語委員会 中国語部会		初修語履修者の４割が選択する中国語において、オンライン教材と対面講義を組み合わせたブレンディッドラーニング（アプリの開発を含む。）を実現し、語学教育科目の学習効果を受講者数が多くなっても維持できることを示した。また、試験成績の向上や、アンケートの結果からも学生が意欲的に取り組んだことが伝わってくるなど、その業績と貢献が高く評価されたことによる。
今井良宗	理学研究科准教授	基礎物理数学の授業において、対面講義とオンライン動画教材の併用、シミュレーション動画の導入などの内容の理解を促進する工夫に取り組み、成績上位層から下位層まで個々の学生の学習意欲を高める方策をとることを可能にした。なかでも復習用オンライン動画教材の提供と、小テストの提出の機会の増加によって演習機会が確保され、成績下位者が大きく減少し、成績上位者に該当する学生数が増加したことなど、これらの業績と貢献が高く評価されたことによる。
岩渕将士	理学研究科助教	理学部・理学研究科キャンパスライフ支援室の専任相談員として、理学部の学生に特有の問題に即したサポートや情報発信を行い、理学部・理学研究科の学生のみならず、保護者や教職員を力強く支えてきた。同支援室開設以降は利用者も年々増加しており、学生からの評価も高く、10年以上にわたって、様々な工夫を重ねながら継続的に学生を支援してきている点は評価できる。なかでも不適応学生の早期発見や予防への取り組みとその成果は他部局でも参考になる事例であり、その業績と貢献が高く評価されたことによる。

総長賞受賞者　2024（令和6）年度

本学の教育目標にかない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

佐藤　優光	文学部	
丹野　靖大	文学部	
豊﨑　亮太	教育学部	
近藤　那音	法学部	
村田　蒼衣	法学部	
佐々木　壮悟	経済学部	
鈴木　竹洋	経済学部	
関端　丈	経済学部	
世良　隆明	理学部	
武田　祐太	理学部	
関谷　夏子	理学部	
齋藤　一創	医学部医学科	
田村　尚己	医学部医学科	
荒木　香那	医学部保健学科	
鶴田　侑万	歯学部	
上岡　駿吾	薬学部	
紺野　達夢	工学部	
ASSABUMRUNGRAT RAWIN	工学部	
藤堂　桜喜	工学部	
八島　俊介	工学部	
佐野　渓	工学部	
本田　理紗	工学部	
荒木　大騎	工学部	
星　美沙希	工学部	
村上　剛基	工学部	
岸波　真由	農学部	
山本　望海	農学部	

修士

中濵　友吾	工学研究科
長谷川　凌太	工学研究科
出牛　すずか	工学研究科
辻　一志	医工学研究科

専門職

松本　祥吾	法学研究科

博士

鈴木　あすみ	文学研究科
髙橋　健人	教育学研究科
王　陽雨子	経済学研究科
竹平　航平	理学研究科
小山　慎之介	理学研究科
小山　俊吾	理学研究科
田邉　辰平	理学研究科
武田　遥奈	医学系研究科
大瀬戸　恒志	医学系研究科
岩渕　太人	歯学研究科
鍵　智裕	薬学研究科
石垣　新太	工学研究科
洪　一帆	工学研究科
Mutai Kevin Kipruto	工学研究科
渡邊　晶斗	工学研究科
永井　歩美	工学研究科
楠本　惟吹	農学研究科
LUCAS HEIKI MATSUNAGA	国際文化研究科
ZHU　YISHI	情報科学研究科
田中　涼太	情報科学研究科
見目　悠	生命科学研究科
東　料太	環境科学研究科

総長優秀学生賞受賞者　2024（令和6）年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

小林　悟郎	情報科学研究科
武田　遥奈	医学系研究科

総長業務功績賞受賞者　2024年度

職員の職務遂行意識の高揚並びに本学の業務改善及び効率化の推進を図ることを目的として、業務上特に顕著な功績があった職員を表彰するものです。

【表彰対象者】事務部門：本学の事務その他の運営に関する職務において、本学のビジョン実現、業務改善、大学改革の推進等への顕著な貢献その他の業務上特に顕著な功績があった者
技術部門：本学の研究を技術面から支援する職務において、研究成果の創出に係る顕著な貢献その他の業務上特に顕著な功績があった者

部　門	氏名・団体名	職　名　等	授　賞　題　目	授　賞　理　由
事務部門	病院総務課ＤＸ推進チーム		病院総務課におけるDX推進による業務改革	Google Workspace 及び Microsoft Office の機能を活用し、(1)兼業事務手続きの Web システム化、(2)長時間労働医師の面接指導実施フロー確立を内製で実現することで、コストゼロで業務改革を成し遂げるとともに、医師を中心とした医療従事者の労働時間削減と適切な健康管理の実現に貢献した。
技術部門	生物・生命科学群植物施設管理グループ（薬用植物園）		50年の技術と知見で支える薬用植物・絶滅危惧種の栽培管理	豊かな自然環境を有する青葉山において、約1,200 種の植物や多様な動物、昆虫が生息する生物多様性を維持しつつ、約400種の薬用植物の栽培・管理をしている。開園から50 年の間に受け継がれた技術と知見を基盤に、「生きた標本」を提供し、絶滅危惧植物ムラサキの永続的・効率的な栽培手法を確立するなど貴重な薬用植物資源の保存と次世代への継承を支え、研究活動の基盤づくりに大きく貢献している。
	結晶方位解析勉強会メンバー		部局横断による機能性材料の磁気的・力学的特性評価技術の高度化	各々の技術を融合し、磁歪式振動発電材料である Fe-Ga 単結晶の結晶方位解析と磁気的・力学的特性を多面的に評価して材料からデバイスへの適切な加工方法の知見蓄積に貢献した。さらに、結晶方位解析と力学的特性の評価方法の高度化によって、これまで困難だった単結晶試料内の残留応力を評価する新しい手法を確立した。
	雁部　祥行	多元物質科学研究所技術専門職員	リチウムイオン二次電池の３Ｄプリント製造技術開発支援	蓄電デバイスの３Ｄプリント研究開発において必要不可欠な大気非暴露３Ｄプリント実験設備を構築した。イオン液体と支持体である酸化物ナノ粒子の組成最適化により３D プリント可能な電解質インク材料を開発した。この成果を元に論文２件、学会発表５件、プレスリリース２件が行われ、研究成果創出に大きな貢献をした。

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者　2024年度

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

氏　名	部　局
ZHAO YIKAI（ジャオ イカイ）	経済学研究科
張　安琪（チョウ アンキ）	医学系研究科

氏　名	部　局
YANG HUI（ヤン フイ）	歯学研究科
HUANG YIHUI（コウ イキ）	工学研究科

氏　名	部　局
殷　子鈞（イン シキン）	農学研究科
劉　淳琳（リュウ チュンリン）	国際文化研究科

澤柳記念 DEI 賞受賞者

「澤柳記念 DEI 賞」は、アカデミア及び社会におけるジェンダー公正性の推進を含んだダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI）推進を目指す取組みに多大な貢献をされた方々を顕彰する制度です。

	氏名・団体名	職　名　等	受賞部門	受　賞　課　題　名
2024年度	（該当なし）			
2023年度	河野銀子	山形大学学術研究院教授	本　賞	科学技術・教育分野のジェンダー平等推進
	張　蕊	国際文化研究科博士課程後期	奨励賞	周作人の女性解放運動の体系化に向けた研究―― 生涯にわたる言論運動とそれを支えた国際的知見の所在――
	北海道大学ＬＧＢＴＱ＋サークル　虹の集い			セクシュアルマイノリティへの理解促進および当事者の居場所づくり